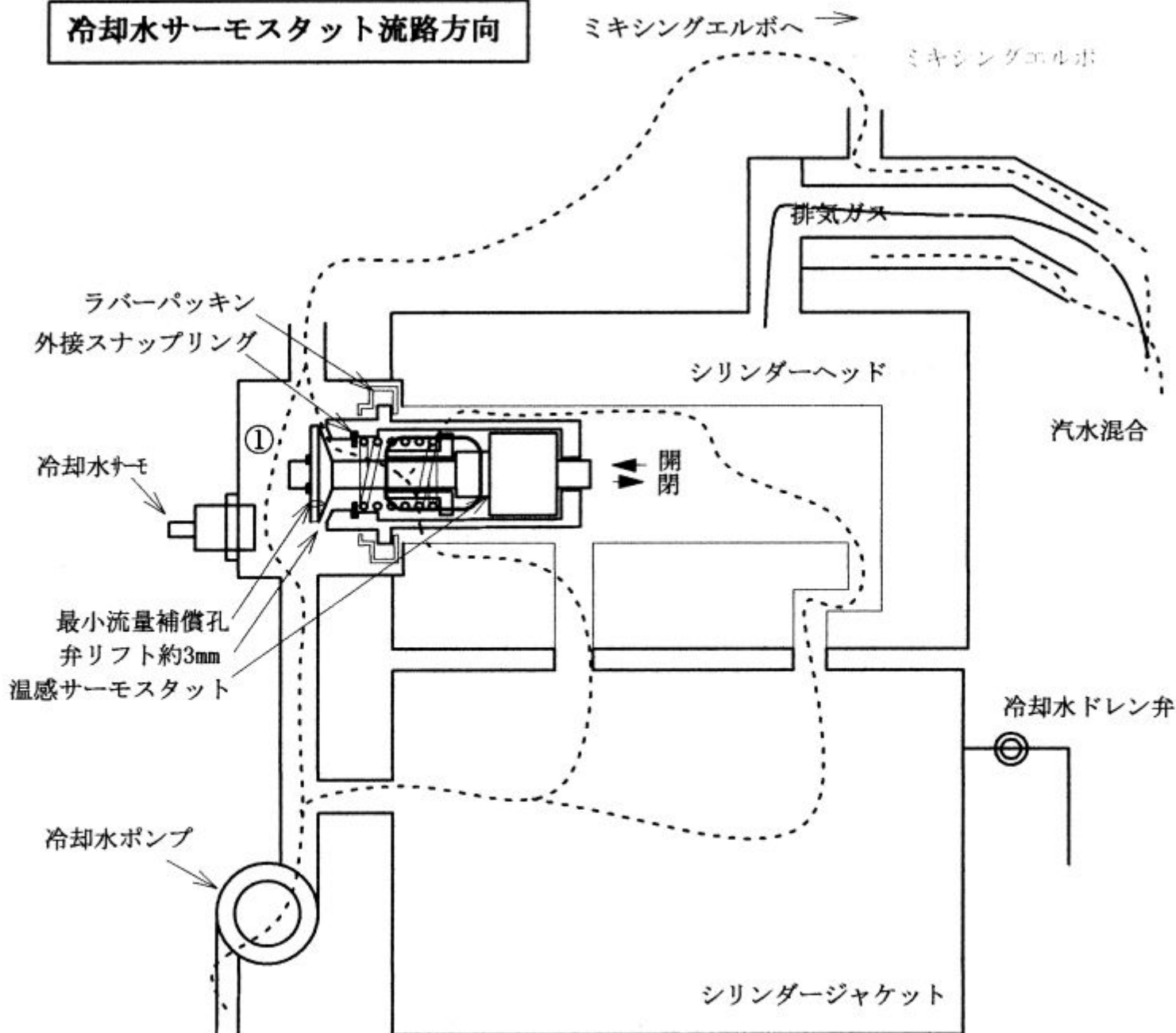


## 冷却水サーモスタット流路方向



### 排気温度、冷却水温度について

シリンダージャケット及びヘッドを冷却した海水は本機の場合は $48^{\circ}$  で温調弁を通過する。  
この時ヘッドの冷却水温度は $48^{\circ}$  以上である。

冷却水ポンプの吐出水の一部はジャケットに入らず、温調弁を通過せずミキシングエルボに流れる①。このため温調弁が作動中(ヘッド出口水は $48^{\circ}$  以上)でも排気ガスは温調弁を通過しない海水①の温度の低い海水で艇の出口温度は更に低くなる。。

冷却水温度警報は $65^{\circ}$  で発生すると云うことは温調弁も開の状態、さらに①の水との混合でも $65^{\circ}$  になることで警報発生。

冷却水温度の低い起動時の $48^{\circ}$  以下では補償孔で流速を維持している。この時は殆どの冷却水は①の流れである。

テスト結果—ジャケット冷却水温度約 $48^{\circ}$  以上で開弁動作。  
冷却水温度約 $48^{\circ}$  以下で閉弁動作。  
テスト結果—冷却水温度センサー $65^{\circ}$  で接点作動。  
 $61^{\circ}$  復帰動作。